

平成 27 年度 第 2 回特定給食施設等研修会実施報告書（病院・高齢者施設等）

日時	平成 27 年 6 月 25 日（木） 13:30～16:00
場所	はぐくみセンター 3 階 大会議室
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・施設が栄養管理や衛生管理に関する正しい知識を身につける。 ・施設間で課題に対する取組みについて情報交換・情報共有する。
参加状況	59 施設、70 名 参加者名簿・・・別紙
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・講義「最近の食中毒の傾向と対策」生活衛生課食品衛生監視員 安宅 ・講義「特定給食施設の栄養管理及び運営管理状況について」 保健総務課栄養指導員 谷田 ・グループワーク「課題解決のためにできること」
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・今回対象とする施設全体の参加率 59% ・参加者アンケート（別紙）

参考 参加施設内訳

施設種	施設数	特定給食施設		その他の給食施設	合計	参加率%
		1 回 300 食以上又は 1 日 750 食以上	1 回 100 食以上又は 1 日 250 食以上			
病院・診療所	27	3	9	4	16	59
介護老人保健施設	11	3	5	0	8	73
老人福祉施設	28	0	3	19	22	76
社会福祉施設	17	0	1	10	11	65
その他の施設	23	0	1	5	6	26
合計	106	6	19	38	63	59

その他の施設・・・有料老人ホーム、高齢者賃貸住宅、事業所、寄宿舎、矯正施設等

結果	<p>1、参加率 今回対象とする施設全体での参加率は約 6 割であった。第 1 回の保育園・学校向けの研修会とほぼ同様の出席率である。診療所は 1 か所を除き出席がない状況で、病院と診療所で意識の違いを感じる。「その他の施設」の内訳でみると、有料老人ホームや事業所など栄養士がいない施設の出席率が低い。</p> <p>2、アンケート結果（グループワーク結果を含む） 参加者の 7 割が管理栄養士・栄養士であり、4 人に 1 人が調理師・調理員であった。各講義について「よく理解できた」「理解できた」と答えた者が 9 割を超えていた。「あまり理解できなかった」と答えた理由の一つとして、マイクが聞き取りづらかったという意見があった。</p> <p>グループワーク結果から、課題に対する具体的な取組みが挙がっており、グループワークに関するアンケート結果からも「情報交換や情報共有ができた」という意見が多く挙がっており、課題に対する他施設の取組みが参考になったことがわかった。</p>
----	---

<p>評価</p>	<p>結果からこの研修会の目標はほぼ達成されたと考える。今回改めて「特定給食施設の役割」について講義で伝え、施設に再認識していただく機会とすることができた。また、市内の食中毒発生状況に対し、タイムリーに情報提供することで保健所としての役割を果たすことができた。限られた時間内で十分伝わらなかった施設へは、個別指導の際や電話でフォローを行う。また、今回欠席された施設へはホームページや個別指導の機会に情報提供を行う。</p> <p>アンケート結果から施設での具体的な事例が知りたいという意見が挙がっており、次年度は施設に事例発表していただく内容で検討したい。</p> <p>有料老人ホームや高齢者住宅は高齢化に伴い施設が増える傾向にあるが栄養士の配置基準がなく参加率も低い。しかし衛生管理や栄養管理は共通する課題であり、今後これら施設への指導方法の検討が必要である。</p>
<p>その他</p>	<p>研修会終了後、病院管理栄養士が自主的に集まり地域連携の必要性について話し合われた。市内の病院管理栄養士は、福祉領域に比べて地域連携が進んでいないという認識があり、まずは顔がみえる関係づくりをしようとされている。この取組みに対しては地域が主体となり、保健所として可能な範囲で支援していきたいと考えている。</p>